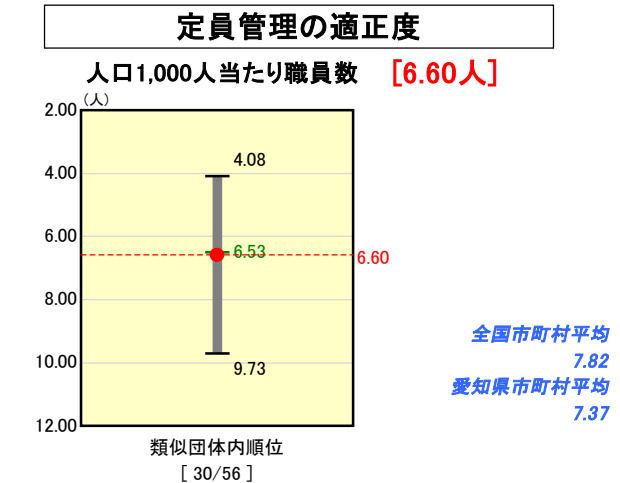
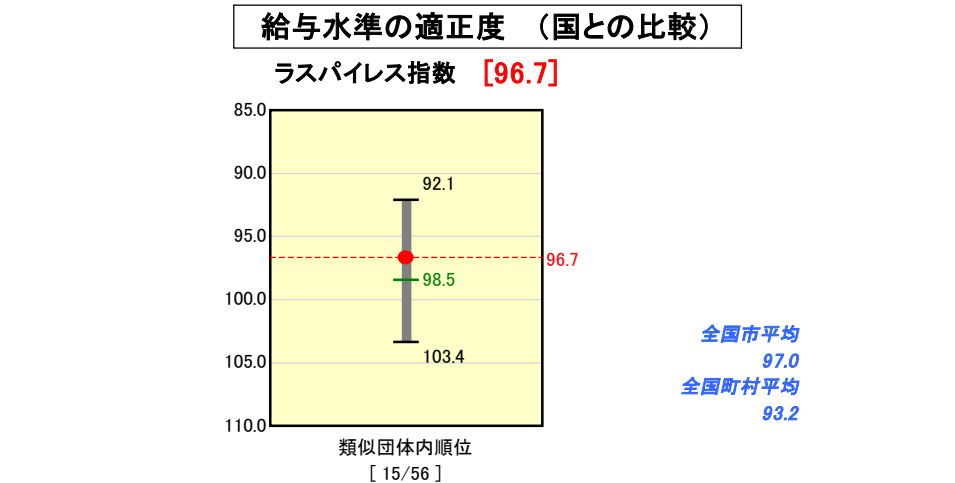
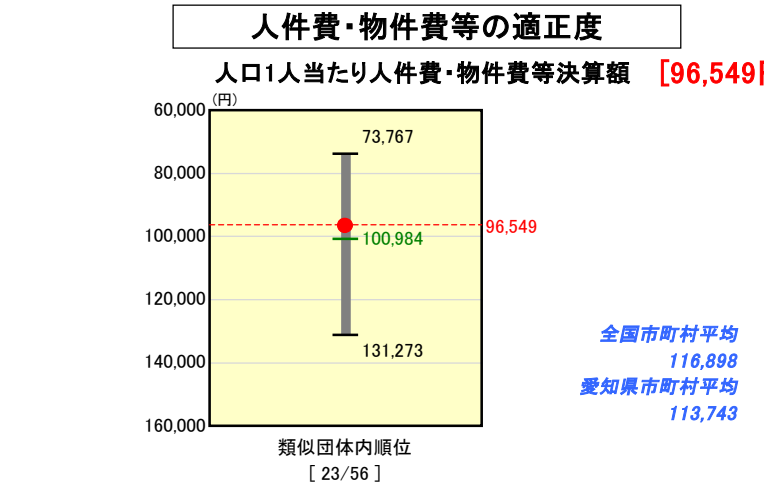
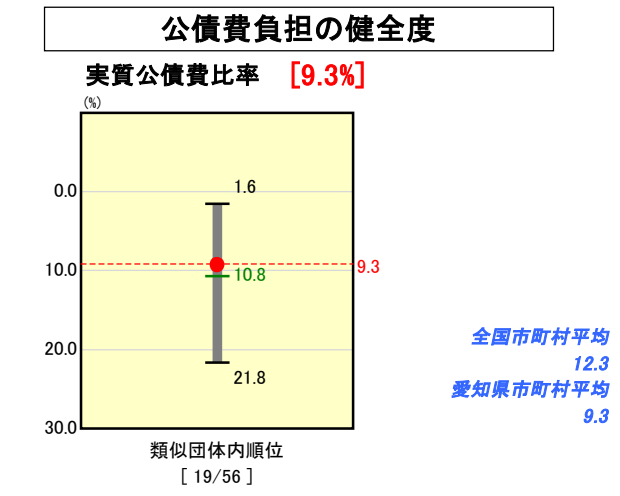
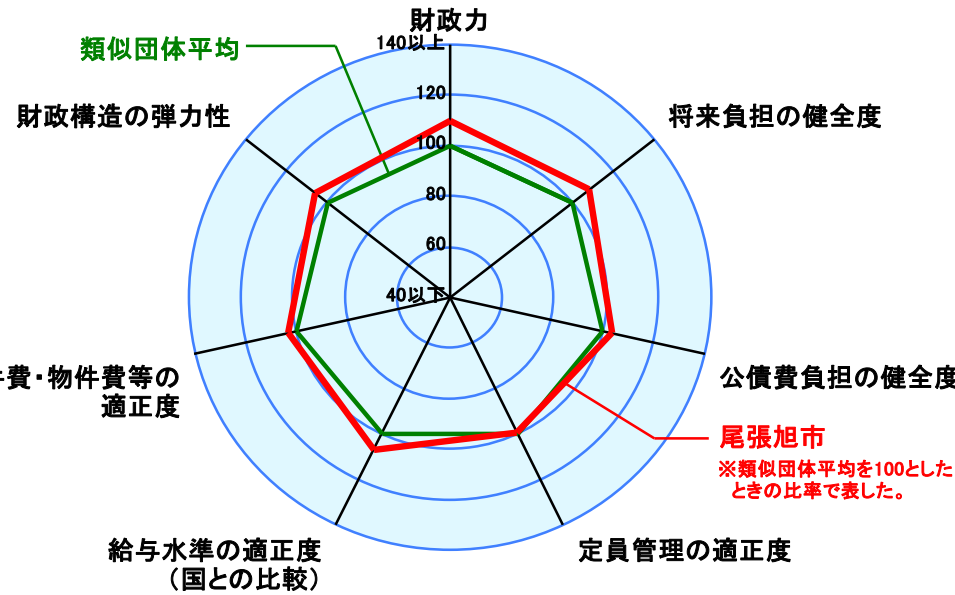
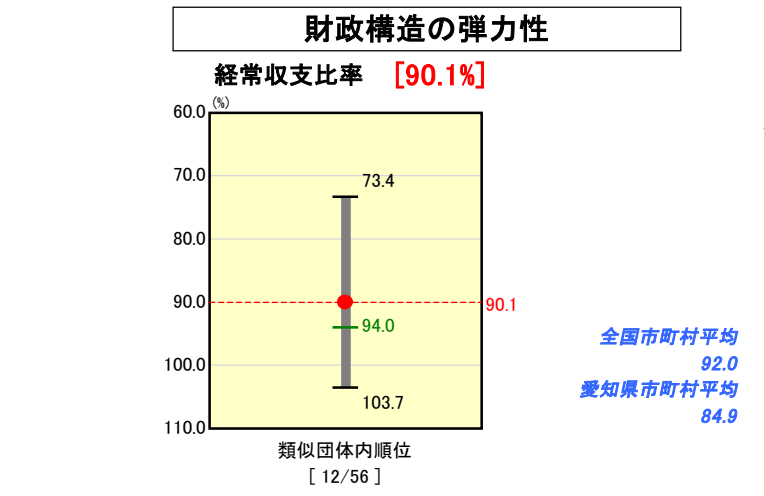
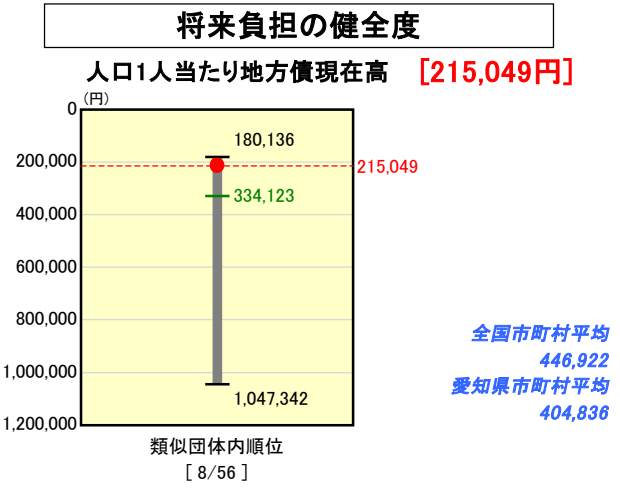
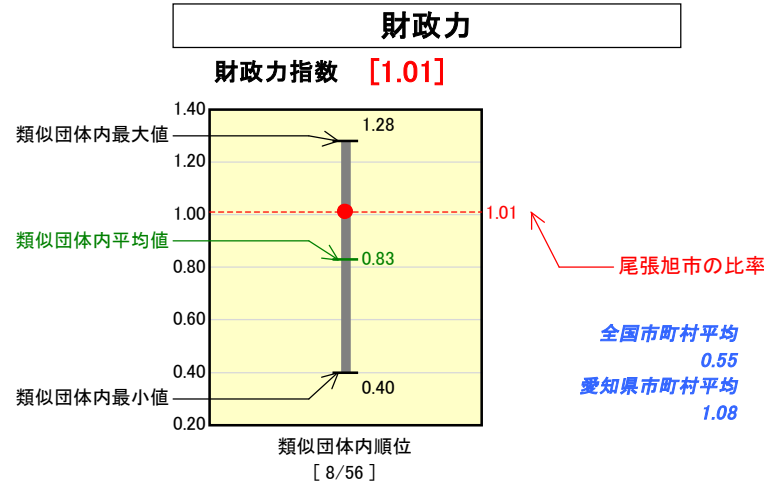


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

愛知県 尾張旭市

人口	79,570	人(H20.3.31現在)
面積	21.03	km ²
歳入総額	20,607,948	千円
歳出総額	20,188,108	千円
実質収支	363,306	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

〔財政力指数〕
財政力指数は、過去8年間、毎年、上昇を続けているが、地方交付税制度の改正によるところが大きく、厳しい財政状況が続いているため、歳入確保を中心とした財務基盤の強化に努める。

〔経常収支比率〕
類似団体内平均、全国市町村平均において下回っているものの、比率は年々悪化しており、平成19年度は90%を越えるなど、財政構造の硬直化が進んでいる。
経常収支比率の上昇を抑えるため、毎年、人件費をはじめとした経常的経費の削減を進めているが、扶助費の増加による比率の上昇を抑えるに留まっている。扶助費の増加傾向は今後続くことが予想されるため、更なる経常的経費の削減に努め、財政構造の弾力性を高めるよう努める。

〔人口1人当たり人件費・物件費等決算額〕
人件費、物件費及び維持補修費については、従前から歳出削減の取り組みを進めてきたこともあり、類似団体内平均、愛知県市町村平均、全国市町村平均の全てにおいて下回っている。今後においても、

計画的な予算・執行管理を通して、適正な水準を維持するよう努める。

〔人口1人当たり地方債現在高、実質公債費比率〕
人口1人当たり地方債現在高、実質公債費比率については、概ね適正な水準にあり、今後についても、臨時財政対策債をはじめとして地方債の発行を抑制しているため現行の水準で推移することが予想される。ただし、公共下水道事業などのため、普通会計以外の会計で借入を行っている地方債の割合が他団体に比べ高いことなど、本市固有の事情もあるため、普通会計以外の会計、関係一部事務組合等での借入なども考慮した上で、世代間の負担の公平化と将来負担のバランスをとりながら適切な地方債の発行管理を行っていく。

〔ラスパイレス指数、人口1,000人当たり職員数〕
ラスパイレス指数においては国家公務員、類似団体内平均、全国市平均を大きく下回っており、人口1,000人当たり職員数も愛知県市町村平均、全国市町村平均を下回っていることから、限られた職員数により人件費を抑制した効率的な運営を行っている認識している。
今後も、行政サービスの提供体制を工夫し、最適な組織規模で効率的な行政経営を行うよう努める。